

県立境高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- 本校伝統の文武不岐の教育方針の下、豊かな人間性を培い、深い知性と逞しい心身を養うとともに、自主自立を涵養し、グローバル人材〔地球規模で考え、地域に貢献できる人材〕を育成する。
- （１）「生きる力」を身につけ、生涯にわたって学び続けるための基礎基本を身に付けさせる。
 - （２）進路指導を充実し未来を切り拓く力を育成しながら、幅広い希望進路を実現させる。
 - （３）規律を遵守する精神と望ましい生活習慣を確立させる。
 - （４）保護者・同窓会・地域と連携して生徒の健全育成に努める。
 - （５）グローバル人材の素地となるスキルと感性を培う。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>（１）国際的な視点による地域や社会の課題に関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の課題が自らの進路選択に深く関わっていることに気づき、それら課題の解決を探究することによって主体的な進路選択ができることを理解する。</p> <p>（２）国際的な視点による地域や社会と自分自身との関わりから、進路実現のための問いを見だし、その解決に向けて情報を分析したり、論理的にまとめたり、表現したりする力を身に付ける。</p> <p>（３）国際的な視点による地域や社会についての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、生涯にわたって学び続け、地域社会に貢献しようとする態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・論文・報告書、レポート、ノート、作品などの制作物、それらを計画的に集積したポートフォリオにより評価する。 ・プレゼンテーションやポスター発表、総合芸術などの表現を評価の対象とする。 ・学習や活動の状況などの観察記録により評価する。 ・振り返りシートや学習記録などによる生徒の自己評価や相互評価による評価も行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた教育課程を策定する。 ・家庭・医療機関との連携を密にする。 ・ケース会議を定期的開催する。

様式 1

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1年	<p>○連続した2カ年を一つのまとまりとして探究活動を行う。生徒が自分で設定した研究主題についてアカデミックにアプローチしていく過程を体験する。</p> <p>1) 研究課題 (問題設定、問題の所在) 具体的に、何を、どこまで、どのように明らかにするのか、を設定する。</p> <p>2) 研究・着想の背景 1のような課題に応えることに、どのような意義があるのか、なぜそのような課題設定が妥当であるのか、を記す。</p> <p>3) 研究方法 この研究において採用・依拠するフレームワークや概念、応用・援用する概念や理論モデルについて言及する。調査や研究方法として、まず実証研究か理論研究かに大別することができる。 実証研究であれば、調査方法としては事例研究、統計調査、社会的実験、実験室実験などが考えられる。社会科学分野における理論研究の場合は、おおよそレビュー研究となる。</p>	<p>・大学教員による模擬講義。</p> <p>・境町役場や地域の小中学校などとの連携。</p> <p>・地域のイベントやボランティア、小中学校の学習支援などへの生徒派遣をコーディネートし、実践的な探究活動の機会を設ける。</p>	<p>(1) 探究の過程において、自己の興味・関心や適性の発見に必要な知識及び技能を身に付け、自己の興味・関心や適性を理解することが、高校生活や進路の目標を設定する上で大切であることに気付くことができる生徒。</p> <p>(2) 集団と自己との関わりから自己発見に関わる問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる生徒。</p> <p>(3) 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを認め合いながら、良好な人間関係作りを実現しようとする生徒。</p>
2年	<p>4) 考察 1・2で設定した主題について、3の方法によって分析や検討を行っていく。</p> <p>5) 結論・結果 (研究の落としどころ) 上記課題について、上記方法で研究を遂行したことによって得られた結果とその解釈(この研究の新たな価値、残された課題)について記す。</p> <p>6) 研究発表 口頭またはプレゼンテーションソフトの活用などにより、研究成果の発表および交流を行う。</p>		<p>(1) 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の課題の解決を自らの興味・関心や適性と結びつけて捉えることで主体的な進路選択ができる生徒。</p> <p>(2) 地域や社会の課題と自分自身の興味・関心や適性との関わりから、進路選択のための問いを見だし、その解決に向けて情報を分析したり、論理的にまとめたり、表現できる生徒。</p> <p>(3) 国際的な視点による地域や社会についての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、主体的に進路を選択しようとする生徒。</p>

<p>3年</p>	<p>○探究課題「社会を見つめ、自身の志望理由を明確にし、その分野における疑問から課題解決するための取組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分野別に用意された動画を各自で視聴し、探究課題の設定の準備をする。 ・集めた情報を活用し、活動計画案をまとめる。 (方向性の確認、担任のアドバイスで修正) ・各進路における試験内容の理解を深め、自身の課題を設定する。 ・まとめ、発表用スライドの作成、配布資料の作成。 ・プレゼンテーション及びディスカッション。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師による進路講演会を開催する。 	<p>(1) 地域や社会の課題解決に関わる探求の過程において、解決策や解決方法を実社会に生かすために必要な知識及び技能を身に付けるとともに、これらの探究活動が自らの進路実現や地域貢献に結びつけられる生徒。</p> <p>(2) 地域や社会と自分自身との実践的な関わりから、進路実現や地域貢献のための具体的な問いを見だし、その解決に向けて情報を分析したり、論理的にまとめたり、表現したりする力を身に付けている生徒。</p> <p>(3) 地域や社会の課題解決についての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、地域や社会のよさを生かしながら、生涯にわたって学び続け、地域社会に貢献しようとする生徒。</p>
-----------	---	---	---